

## 生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況

### 1 生活支援体制整備事業の取組状況

#### (1) 生活支援コーディネーター及び協議体の設置状況

	第1層	第2層
生活支援コーディネーターの活動圏域	市全域	中学校区（4地区）
生活支援コーディネーターの数	1人	2人
配置先（委託先）	清須市社会福祉協議会 常勤（兼務）	清須市社会福祉協議会 常勤2人（兼務）

#### (2) 第1層生活支援コーディネーターの取組み

##### ① 協議体「地域ささえあい会議」[年2回程度開催]

- ・目的：住民、専門職がともに地域課題について検討し、地域情報の共有と連携を強化することにより、助け合いのある地域基盤を作る。
- ・参加者：地域住民、地域包括支援センター職員、市役所、生活支援コーディネーター
- ・テーマ：買い物、男性の社会参加

##### ② 協議体（福祉団体や社協の他事業との連携による開催）[年10回程度開催]

- ・目的：地域住民との情報交換とニーズ把握

##### ③ 社協主体サロン、福祉出前講座の開催

- ・目的：集いの場の創出と、担い手の養成
- ・新規取組：みんなのげんき塾inヨシヅヤ清洲店

#### (3) 第2層生活支援コーディネーターの取組み

##### ① 協議体「地域ささえあい会議西枇杷島」[年3回程度開催]

- ・目的：住民、専門職がともに西枇杷島の地域課題について検討し、地域情報の共有と連携を強化することにより、助け合いのある地域基盤を作る。
- ・参加者：地域住民、地域包括支援センター職員、市役所、生活支援コーディネーター
- ・テーマ：西枇杷島地区における福祉啓発のため、情報発信の場の創出

##### ② 協議体（福祉団体や社協の他事業との連携による開催）[年10回程度開催]

- ・目的：地域住民との情報交換とニーズ把握

#### (4) 令和5年度生活支援体制整備推進に係る助言者派遣の実施

男性の地域活動への参加を促進する取り組みについて学び、市内の地域活動推進に生かすために講演会を実施。

## ① 講演会の概要

日 時：令和 6 年 2 月 1 9 日（月）午後 1 時 3 0 分から午後 3 時  
 会 場：清須市清洲総合福祉センター  
 参加者：2 9 名（男性 1 7 名、女性 1 2 名）  
 講演名：地域づくり講演会  
 どうするシニアの健幸づくり！コミュニティスポーツを楽しもう  
 講 師：一般社団法人地域社会福祉サービス支援機構  
 代表理事 杉本 侂氏  
 内 容：コミュニティスポーツで健幸な暮らしと地域づくり  
 住み慣れた地域で暮らし続けるため、超高齢社会を乗り越えるために必要な地域  
 づくりや男性の地域活動への参加を促進する取り組みについて「スポーツスタッ  
 キング」「モルック」「トイドローン」の体験を通して学ぶ。

## ② 講演会を通じて感じたこと

- ・コミュニティスポーツを社会参加促進ツールとして「地域の誰もが日常生活の中で手軽に楽しめる健幸づくりに有効なスポーツ」として捉える。多様な世代が参加でき、シニアにとってもフレイルおよび認知症予防にも期待ができるとともに男性の地域活動への参加促進にも期待ができる。人生 100 年時代超高齢社会を生きるには、「やりがい」と「つながり」が必要であり、自分自身が主体的に取り組み「楽しい」から「愉しむ」ことが重要である。



講演後、参加者からの要望もあり、社協レクリエーション貸出備品として「スポーツスタッ  
 キング」「トイドローン」の購入を行い、コミュニティスポーツを通じた地域づくりの推進を  
 図っていく。

## 2 各事業の連動性

